

## 「畜産安心ブランド生産農場」34戸を認定！ ～平成19年度 交付式と交流会を開催～

当協会では、より安全・安心な県産畜産物を県民に届けるため、HACCPの考え方に基づく衛生管理手法を導入した農場を「畜産安心ブランド生産農場」として認定しています。

### 平成19年度の認定経過

認定申請に向けて、各農場は、飼養衛生管理基準に沿った適正な管理と生産履歴の記録などに取組んできました。飼養衛生管理状況申告書、医薬品の使用・管理記録簿等を整備し、管理獣医師及び家畜保健衛生所からの認定推薦意見書を添えて11月中旬までに34農場が認定申請を行いました。

当協会は、これを受け、畜産安心ブランド生産農場認定委員会の委員の方々と現地調査を実施し、実際の飼養管理と各種記録簿の整備状況を点検して、適切に実施されていることを確認しております。

12月19日、畜産安心ブランド生産農場認定委員会を開催し、事務局から各農場毎に飼養管理状況等について説明して、逐一、委員から審査をいただいた結果、34農場すべてが認定基準に適合していると判断されたことから、畜産安心ブランド生産農場として認定することに決定しました。

平成19年度認定農場の内訳は、クリーンミルク生産農場10戸、クリーンビーフ生産農場22戸、クリーンポーク生産農場2戸です。

この結果、平成17年度に事業開始以来、認定農場数は下表のとおり、173農場となりました。

畜産安心ブランド生産農場認定農場数

畜種	乳用牛	肉用牛	養豚	採卵鶏	肉用鶏	合計
認定農場数	22	47	71	19	14	173

### 認定証交付式と交流会の開催

今回新たに認定された畜産安心ブランド生産農場に対する認定証交付式と畜産安心ブランド生産農場交流会を、去る2月27日(水)、全農にいがた県本部大会議室で開催し、認定農場、認定委員、獣医師、関係機関・団体、報道関係者等70名に出席いただきました。

新規認定農場に認定証の楯が手渡された後、認定農場を代表して荒川和美氏(クリーンビーフ生産農場)から安全・安心な畜産物生産に取り組む決意が表明されました。



引続いて開催された交流会では、座長として楠原征治氏(認定委員会委員長)の進行のもと、「食の安全・安心に係る新潟県の取組み」について、県福祉保健部生活衛生課の遠山潤氏から講演いただき、「認定制度を活用した経営展開」について、(株)三国の鈴木守氏、富士畜産(株)の佐藤進氏及びクリーンミルク生産農場の中野浩一氏の3名の方から話題提供をいただきました。

次いで、会場の出席者も交えて、認定制度の意義、課題等について意見交換が行われ、関係者が連携して消費者の認知度を高めていくことが重要との今後の取組み方向が提言されるなど、認定制度をどう活かしていくかを考える良い機会となりました。